

見守りネットワーク事業

「住民支え合いマップづくり」

中学校体育館において村内一斉に開催
184名の参加!!

自治会長はじめ関係者（各区役員、民生児童委員、榛東駐在所、消防団、防災ボランティア、学校関係者、JA榛東）の多くの方々のご理解ご協力のもと開催いたしました。

本事業は、榛東村地域福祉活動計画に記載されている「地域における避難行動要支援者情報の把握と共有」に基づき、災害時等において支援を必要とする方・世帯（避難行動要支援者）を地域全体で見守るネットワーク構築のため地域支援関係者が感染予防対策を徹底したうえで一堂に会して、地域の詳細情報を住宅地図に示し、避難行動要支援者を中心とした総合的な支援体制のマップづくりをおこない、地域住民による顔の見える関係づくり（地域力の向上）避難行動要支援者等の福祉ニーズ把握を目的としています。



災害対策基本法の改正により、支援が必要な「避難行動要支援者」の個別避難計画の作成が市町村の努力義務となり、令和3年内閣府が個別避難計画の効果的・効率的手法を構築し、全国に展開するため、自治体において個別避難計画の作成する取組を支援する「個別避難計画作成モデル事業」が実施され、本年度は本村が内閣府の指定を受け開催をいたしました。

本会は、平成19年から「住民支え合いマップづくり」を実施し、更に令和1年に避難行動要支援者を細分化し、「避難支援個別プラン」の作成を開始しております。

